

## 大田市新不燃物処分場建設計画説明会への抗議文

住民の生活環境に大きな影響を及ぼすゴミ処分場建設計画に関して、候補地選定のプロセスに住民の意思が反映されていないこと、大田市が宅野での建設を前提とした説明に終始していること、に対して住民の不信感が高まっています。

平成21年1月20日には、地元住民への説明がないままに宅野が最終候補地となったことについて、「住民への十分な説明の期間と機会を設けること」「住民と全地権者の完全な同意が得られるまでこの計画を進めないこと」の2点を請願する地元住民らの署名が501人となり、その請願署名簿を大田市長に届けました。

あらかじめ決定済みの事業方針・事業計画の一方的な説得活動では、もはや住民の合意は得られません。よって、この問題に関して、宅野での建設計画をいったん中止し、住民や学識経験者をまじえた協働の意思決定プロセスを導入したうえで、ごみ問題全般に関する真剣な討議を重ねていくことが重要です。

上記のことの関しては、平成21年1月27日に、市議会議長宛に要望書を提出したところです。この状況下にあつて、請願を提出した「宅野の自然と生活環境を守る会」への連絡もなく、宅野への建設を前提とした説明会を現地で開催することは住民感情を無視した行為であり、厳重に抗議し、以下の2点を要望します。

### 記

- 1 「宅野の自然と生活環境を守る会」との協議なしに、宅野での建設を前提とした一方的な説明会を現地で行わないこと
- 2 住民の合意を得ずに、宅野地内での「測量調査、地質調査、生活環境影響評価調査、地権者説明等」を行わないこと。またこれらの予算計上を行わないこと

平成21年2月2日

大田市長 竹腰 創一 殿

宅野の自然と生活環境を守る会 代表 山上光俊